

三森さん（九州大助手）に「若手科学者賞」

がん抑制遺伝子 臨床応用を研究



三森功士さん

九州大学生体防御医学

研究所（別府市）の三森

功士助手（三九）が、本年度

の科学技術分野の文部科

学大臣表彰「若手科学者

賞」を受賞した。がん抑

制遺伝子FHIIT（フィ

ット）の臨床応用に関する

る研究が評価された。県内からの受賞者は初めて。県で変異するとともに、著しく低下する②大腸粘膜でも慢性炎症にかかるとFHIITが消失し、がんの進展にかかわることなどを明らかにした。

同賞は、独創的な視点に立った研究、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績を挙げた四十歳以下の若手研究者に贈られる。三森さんは、食道がんとFHIITの関係に着目し①食道がんにかかるとFHIITがゲノム

（全遺伝情報）のレベルで変異するとともに、著しく低下する②大腸粘膜でも慢性炎症にかかるとFHIITが消失し、がんの進展にかかわることなどを明らかにした。三森さんは「一緒に研究しているチームにいたりたいようなもの。臨床の視点を持って研究する人たちに希望を与える受賞になった」と喜んでい